



伊良部大橋



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会 九州支部**

JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS KYUSHU BRANCH OFFICE

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目3-22 産恵ビル3階 TEL 092-451-6244 FAX 092-481-0941

編集・発行 **総務広報委員会**

一般社団法人 日本建設業連合会 本部・各支部

|              |                                                               |                             |
|--------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| <b>本 部</b>   | 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目5-1<br>TEL03-3552-3201 FAX03-3552-3206  |                             |
| <b>北海道支部</b> | 〒060-0004 札幌市中央区北四条西3丁目<br>TEL011-261-6243 FAX011-261-2528    | 北海道                         |
| <b>東北支部</b>  | 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3<br>TEL022-221-7810 FAX022-265-9465    | 宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島           |
| <b>関東支部</b>  | 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2丁目5-1<br>TEL03-3552-3208 FAX03-3552-3206  | 東京・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・山梨・長野 |
| <b>北陸支部</b>  | 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1<br>TEL025-285-8886 FAX025-285-8884     | 新潟・富山・石川                    |
| <b>中部支部</b>  | 〒460-0008 名古屋市中区栄3-28-21<br>TEL052-261-3808 FAX052-261-4363   | 愛知・岐阜・静岡・三重                 |
| <b>関西支部</b>  | 〒540-0031 大阪府中央区北浜東1-30<br>TEL06-6941-3658 FAX06-6942-4031    | 大阪・福井・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山       |
| <b>中国支部</b>  | 〒730-0051 広島市中央区大手町2-11-15<br>TEL082-243-3017 FAX082-242-2380 | 広島・鳥取・島根・岡山・山口              |
| <b>四国支部</b>  | 〒760-0026 高松市磨屋町6-4<br>TEL087-851-6969 FAX087-851-3176        | 香川・徳島・愛媛・高知                 |
| <b>九州支部</b>  | 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22<br>TEL092-451-6244 FAX092-481-0941 | 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄    |

(一社)日本建設業連合会ホームページ  
<http://www.nikkenren.com/>

日建連のホームページには、建設業に関する基本データ、戦後の建設業界の関連年表、全国の土木博物館一覧表、また、他では見られない迫力ある土木写真など、お役に立つ情報が満載です。ぜひ、アクセスしてみてください。



首里城・正殿

一般社団法人 日本建設業連合会 九州支部

# Message

## 支部長ご挨拶



(一社)日本建設業連合会  
九州支部 支部長

**河野 健吾**

〈鹿島建設㈱ 常務執行役員 九州支店長〉

## 「働き方改革」で魅力ある産業を目指して

九州支部長の河野でございます。

本誌をご覧の皆様には当支部の事業活動につきまして、かねてから格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日建連では、建設業の再生を図るべく、皆様のご協力ご指導を賜りながら種々の活動を展開しているところです。

建設業界においては、建設技能者の高齢化は著しく、2015年までに120万人以上の離職が見込まれています。この大量離職時代を乗り切り建設需要に的確に対応できるよう、日建連は「若者を中心に90万人の確保」及び「生産性向上により35万人の省人化」を目標に挙げております。そして、これらの目標実現に向けて、賃金水準の向上、建設キャリアアップシステムの普及促進など、業界を挙げて建設技能者の処遇改善を推進するとともに、「i-Construction」の施策に呼応して、ICT、IoT、ロボット、AIの導入などによる生産性向上に取り組んで参りました。さらに昨年は、政府の「働き方改革実行計画」の趣旨を真摯に受け止め、長時間労働の是正、とりわけ他産業に比べて著しく遅れている建設現場の週休二日実現に向けた今後5年間の行動計画を策定したところです。

建設業を立て直し、再生させるには「担い手の確保」と「生産性の向上」の2本柱の展開が必要と考えておりますが、担い手確保には、工期設定・長時間労働の解消等の労働条件の改善、賃金の向上、女性活躍推進など種々の取組が必要です。

九州支部では「九州地方整備局様との意見交換会」や「けんせつ小町懇談・交流会」等を通じ労働環境の改善に取り組み、また、生産性の向上につきましても「CIMガイドライン説明会」「建設技術講演会」等の開催などの活動を展開しているところです。

昨年の九州北部豪雨の際には、建設業の社会的使命を果たすべく、支援要請に対応いたしました。今後も将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震等に備え、より迅速な支援が可能となるよう、諸々の見直しを進めて参りたいと考えております。

建設業は、国民生活に欠かせない産業基盤となる社会資本整備の一翼を担い、また、災害時に地域を守る国民に不可欠な産業であると確信しております。今後も若者や女性にとって魅力ある建設産業づくりのために邁進し、建設業の社会的責任が果たせるよう活動を展開して参りたいと考えておりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 九州の建設業「キーストン」 Keystone

vol.34  
平成30年  
2月発行

## contents

### 九州ウォッチング

## 2 「沖縄21世紀ビジョン」の実現を目指して -沖縄県-

### けんせつ小町

いつもイキイキ! けんせつ小町!

8 株式会社フジタ 九州支店  
吉田 果奈さん

10 株式会社大林組 九州支店  
由村 未来さん

12 けんせつ小町  
現場見学会・懇談会・交流会



### 市民現場見学会

来て、見て、感じてみよう! 土木・建築の魅力

14 建築見学会 九州産業大学人間科学部新棟建設工事

15 土木の日見学会 五ヶ山ダム・道路管制センター・  
西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

16 鉄道工事見学会 熊本駅周辺鉄道高架化事業

17 土木工事現場見学会 宮崎218号平底トンネル新設工事

### Report

18 〈平成29年九州北部豪雨支援対応報告〉  
日建連、資機材調達等の支援を実施!

19 土木の日ファミリーフェスタ2017

20 九州建設技術フォーラム2017

21 平成29年度大規模津波防災総合訓練

22 インターンシップ講演会

23 ・ガイドライン説明会 -2017福岡-  
・鉄道建設工事技術講習会

24 ・災害防止総決起大会  
・意見交換会

25 ・建設技術講演会  
・安全環境委員会活動



### Outline

26 団体の概要

### Information

28 会員・役員名簿



# 「沖縄21世紀ビジョン」の実現を目指して

## 沖縄県



沖縄県知事

翁長 雄志(おなが たけし)

昭和25年10月2日生まれ

■略歴

最終学歴 法政大学法学部卒業  
昭和60年 8月 那覇市議選初当選(2期)  
平成 4年 6月 沖縄県議選初当選(2期)  
平成12年12月 那覇市長選初当選(4期)  
平成26年12月 沖縄県知事初当選

沖縄本島 *Okinawa hontō*

西表島 *Iriomotejima*

宮古島 *Miyakojima*

石垣島 *Ishigakijima*

### はじめに

はいさい!ぐすーよー、ちゅーがなびら。

(こんにちは!皆さん、ご機嫌いかがですか。)

沖縄県は昭和47年に日本に復帰した当時、社会生活基盤、産業基盤整備の遅れ、日本本土と異なる基地依存型輸入経済構造となっていました。これらの解決のため、3次30年にわたる沖縄振興開発計画では社会資本整備を中心とした本土との格差是正が、その後の沖縄振興計画では民間主導の自立型経済の構築等が図られてきました。

これらの沖縄振興施策の積み重ねにより、本県は社会資本の整備、就業者数の増加、観光産業の成長など、着実に発展してきました。しかしながら、一人当たり県民所得、島しょ経済の不利性の克服等はいまだ十分ではなく、自立型経済の構築はなお道半ばに

あります。

加えて、現在も国土面積の約0.6%の沖縄県に、在日米軍専用施設・区域の約74%が集中しており、過重な米軍基地の負担軽減が強く求められています。

これらのことを踏まえ、沖縄県では、平成22年に県民が望む将来(2030年頃)の沖縄の姿「沖縄21世紀ビジョン」と、その実現に向けた前期10年の取組の方向性等を明らかにした沖縄振興計画である「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を平成24年に策定しました。

平成30年は、沖縄21世紀ビジョン基本計画の7年目にあたり、生活環境の整備をはじめ、産業振興、福祉、医療、文化など幅広い分野において様々な施策を展開することにより、沖縄振興を強力に推進していくこととしております。

## 沖縄21世紀ビジョン

～目指すべき20年後の沖縄へ～  
県民みんなで進める、新しい沖縄の設計図

県民が望む  
5つの将来像

- |      |                         |
|------|-------------------------|
| 将来像Ⅰ | 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島 |
| 将来像Ⅱ | 心豊かで安全・安心に暮らせる島         |
| 将来像Ⅲ | 希望と活力にあふれる豊かな島          |
| 将来像Ⅳ | 世界に開かれた交流と共生の島          |
| 将来像Ⅴ | 多様な能力を発揮し、未来を拓く島        |

5つの将来像を実現するための 2つの基軸 と 8つの枠組み

### 2つの基軸

基軸1 潤いと活力をもたらす  
沖縄らしい優しい社会の構築

基軸2 日本と世界の架け橋となる  
強くしなやかな自立型経済の構築

### 8つの枠組み

1 豊かな自然環境の保全と  
薫り高い文化の継承

2 とともに支え合い健康で  
生き生きと暮らせる社会の実現

3 穏やかで安全な社会の構築と  
快適で質の高い生活空間の創造

4 21世紀「万国津梁」実現の  
基盤づくり

5 リーディング産業と地場産業が  
好循環構造をもつ経済の構築

6 駐留軍用地跡地の活用等による  
県土構造の再編

7 離島の定住条件向上等による持続可能な地域社会づくり

8 将来像実現の原動力となる人づくり

2つの基軸をもとに位置づけた  
8つの枠組みを施策連携のコンセプトとして横断的取組を推進

5つの将来像実現に向けた36の基本施策を効果的に推進

## 三 沖縄県土木建築部の主要施策

### 将来像Ⅰ 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島

#### ①「住んでよし」「訪れてよし」の沖縄らしい風景づくり

県民共通の財産である沖縄らしい風景・景観を次世代に守り継ぎ、「時間とともにその価値が高まる地域づくり」を促進するため、個性豊かな風景づくりに貢献する人材を育成します。また、良質な公共空間の創出に向けた取り組みを行い、県民が誇りと愛着の持てる魅力的な景観形成を促進します。



龍潭通り沿線地区(那覇市都市景観形成地域)



石垣市獅子森地区

### 将来像Ⅱ 心豊かで安全・安心に暮らせる島

#### ①土砂災害対策の推進

台風、豪雨によるがけ崩れ、地すべり、土石流から住民の生命・財産を守るため、急傾斜地崩壊対策事業、地すべり対策事業、砂防事業による土砂災害対策を推進します。



安里地すべり対策事業(中城村)



比地川砂防ダム(国頭村)

#### ② 海岸事業

台風常襲地帯である本県は、高潮、波浪等による被害が度々発生しています。そのため、高潮、波浪等から海岸を防護するため、海岸保全施設(海岸堤防・護岸等)の整備を推進しています。

海岸事業のうち、高潮対策事業では高潮、波浪等による被害があった箇所、あるいは被害の発生する可能性が高い箇所の整備を行っています。海岸老朽化対策事業では、老朽化した施設の機能の強化・回復を行っています。海岸環境整備事業では、海浜利用の促進等を目的として、人工ビーチの整備を行っています。



高潮対策事業／宮城海岸

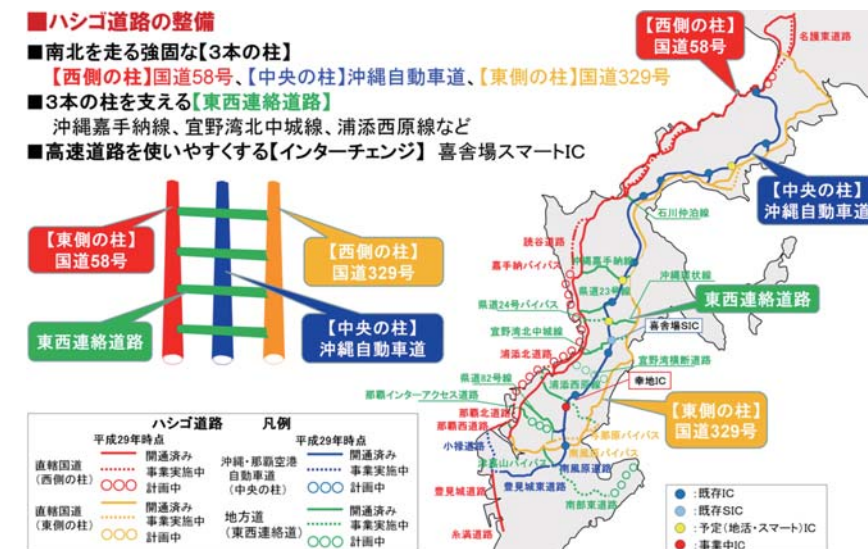


海岸環境整備事業／トロピカルビーチ

### 将来像Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島

#### ① ハシゴ道路の構築

沖縄本島中南部における慢性的な交通渋滞の緩和、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善等を図るため、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網『ハシゴ道路』の整備を推進します。



## 三 沖縄県土木建築部の主要施策

### ② 沖縄都市モノレール延長事業

沖縄都市モノレールは、開業以来県民や観光客の交通手段として定着しており、年々利用者が増加しています。現在進められている沖縄都市モノレール延長事業は、沖縄自動車道と最終駅のてだこ浦西駅を結節する事で中北部からの自動車交通をモノレールなど公共交通機関へ転換し、那覇都市圏の慢性的な交通渋滞の緩和を図る事を目的に整備を進めています。



### ③ 離島における定住条件の整備

「伊良部大橋などの離島架橋整備」や「浮棧橋の整備」などにより、安全で安定した交通の確保に努めています。



宮古島と伊良部島を結ぶ伊良部大橋



浮棧橋整備事業／仲間港(竹富町)

## 将来像Ⅳ 世界に開かれた交流と共生の島

### ① 産業振興基盤、交流拠点および離島振興に資する港湾整備

那覇港において、沖縄の自立型経済の構築に向けた国際流通港湾としての機能や防災機能の強化を図るための取り組みを推進するとともに、中城湾港(新港地区)において、国際物流拠点産業集積地域への産業集積を目指し整備を推進します。

平良港、石垣港および本部港において急増するクルーズ船寄港に対し、大型クルーズ船が接岸可能なクルーズターミナルの整備を推進します。



### ② 離島拠点空港の国際線受入体制の整備

下地島空港では、平成29年3月に下地島空港及び周辺用地の利活用について基本合意書を締結した三菱地所(株)により、国際線定期便や国内線定期便(LCC等)等を受け入れるための旅客ターミナル施設整備を行っています。

沖縄県は、一般駐車場などの関連する公共施設の整備を進めるとともに、事業者と連携し航空路線の誘致に取り組んでおります。



下地島空港旅客ターミナル施設イメージパース(提供:三菱地所株)

いつもイキイキ！

# けんせつ小町！

『けんせつ小町』は建設業で活躍する女性の愛称です。

土木編

経験を積み重ねて技術者として成長し  
いろんな建設現場でチカラを発揮したい。

株式会社フジタ 九州支店

吉田 果奈さん

よしだ・かな ○福岡県出身。日本大学生産工学部土木学科卒業。平成28年(2016年)入社。  
株式会社フジタ九州支店土木工部・中尾トンネル作業所勤務。現在、長崎自動車道の中尾トンネル工事における工事担当として「インパート工」に従事。

## 現場情報

- 工事名称 長崎自動車道 中尾トンネル工事
- 工事場所 自)長崎県長崎市芒塚町～至)長崎県長崎市田中町
- 施工企業 株式会社フジタ
- 工事内容 工事区間2,516m
  - ・トンネル工事…掘削延長1,686m、覆土延長1,686m
  - ・明かり工事…土工延長271m、橋梁下部工(白見夢大橋)橋台2基、橋脚2基、及び(中尾橋)橋台2基



①トンネル坑口前で伊藤所長と共に。②トンネル内のインパートの埋め戻し転圧を指示・確認。③工事長と各種工事情報をパソコンでチェックする。④インパートの埋め戻しの高さを目視確認中。⑤作業現場に設置された女性用トイレ。

## 生活を支える基盤づくりの仕事に興味を持ったことが志望の動機。

小さいころから「ものづくり」が好きだったことから、将来も何かものづくりに関わる仕事に就きたいと思っていました。そこで高校在学中、大学進学を考える際にそうした思いを先生に伝えたところ、勧めてくださったのが建設分野。その中でも人々の生活を支える基盤づくり＝インフラ整備を行う土木業に興味を持ったことから大学も土木学科へ入学し、土木分野の知識を学ぶことを選択しました。

大学では、土質、構造力学、測量など土木分野の基礎となる幅広い知識を学び、3年次には、千葉にあるフジタの造成現場でのインターンシップにも参加しました。現場では様々な仕事を見たり体験したりしましたが、イメージどおりの大きなやりがいを実感したことから、進路を土木分野へ明確に定めることができました。

## トンネルが徐々に完成していく様子をいちばん間近で見られる喜びがある。

現在、長崎自動車道の中尾トンネル新設工事の現場で、トンネルの耐力を増加させて沈下や変状などを防ぐためにトンネルの底面にコンクリートを打って逆アーチを施工する「インパート」を担当しています。関連する主な仕事としては、進捗状況の確認と工事状況の写真管理、位置だしのための測量、コンクリートの打設及び管理などで、工事に当たる職人さんたちとコミュニケーションを取りながら業務に取り組んでいます。

私にとって、このトンネル工事が最初の現場です。担当してまだ2年目なので、今、所長をはじめ先輩方に優しく丁寧に教えて

頂きながら仕事を進めているところです。そんな日々の中、自分が技術者の一人として工事にに関わり、トンネルが徐々に造られていく過程をいちばん間近で見られることにこの仕事のやりがいを覚えています。的確な段取りなど覚えることはまだたくさんありますが、工事自体は順調に進んでいるので、私自身、技術者として少しずつ成長している手応えも感じています。

## 徐々に進展する女性のための改革。建設業界でぜひ力を発揮してほしい。

大学の講義や実習とは違って現場でしか分からないことも多く、私にとってこれからも勉強の日々がしばらく続いていくことでしょう。ですから経験を積んで「仕事の幅」を広げ、できるだけ早く現場に貢献できる人材になることが目標です。将来的には、トンネルのほかにも橋梁やダム工事、造成などあらゆる建設現場で働きたいですね。

私も以前は、土木現場は男性の職場でなんとなくコワイ人が多いとも考えていました。しかし、実際に働いて見るとそんなことはまったくありません。これから就職を考える人は不安もあると思いますが、今の土木現場は女性専用の施設も充実してきているので、働くことに支障はないはずです。建設業は、女性にとっても絶対にやりがいのある仕事です。少しでも建設分野に関心を持っているのなら、ぜひ将来、建設業で力を発揮してほしいと思います。

## 施設について

トンネル工事の現場には、坑口の近くに女性専用のトイレが設置してあります。また、現場の詰所にも女性作業員用のトイレ(水洗)と休憩所が設けてあります。

いつもイキイキ!

建築編

# けんせつ小町!

「けんせつ小町」は建設業で活躍する女性の愛称です。

建築に携わる喜びを日々感じながら  
将来は、生産設計長として活躍したい。

株式会社大林組 九州支店

由村 未来さん

よしむら・みき◎福岡県出身。鹿児島大学工学部  
建築学科卒業。2011年(平成23年)入社。  
株式会社大林組九州支店・熊本城工事事務所勤務。  
現在、熊本城天守閣復旧整備工事における建築係  
として躯体補修工事の工程管理、安全管理、  
原価管理など施工管理に従事。



## 現場情報

- 工事名称 熊本城天守閣復旧整備工事
- 工事場所 熊本県熊本市中央区本丸地内
- 施工企業 株式会社大林組
- 延べ面積 3,068.30㎡
- 最高高さ 平左衛門丸広場 地盤面より 44.94m  
(本丸と平左衛門丸との高低差は約6.0m)
- 建物概要 地上6階地下1階
- 構造 SRC、RC、一部S造

## 叔母からの勧めをきっかりに、 進路を建築分野に決めて高校・大学へ。

幼い頃からものをつくるのが好きで、小学生のときも組立ブロックの玩具で大きな建物を作って遊んでいました。そんな私に、意匠設計の仕事をしている叔母から「将来は建設分野の仕事してみたら」という勧めをもらったことが、建設業界を目指したきっかけになりました。中学生のときには進路を「建築」に決めて、高校でも理数系を選択。大学は当然のように建築学科へ入り、設計、製図、構造力学、模型製作など建築の基礎をじっくり学びました。

卒業後は大林組へ入社しましたが、これは大林組で女性が活躍している印象を持っていたからです。また、大きな建物の建築に携わることができるという点も私にとっては魅力でした。

## やりがいを感じるのは自分の指示で スムーズに工事が進行しているとき。

現在は、熊本城工事事務所の建築係として、2016年4月の熊本地震でダメージを受けた「熊本城天守閣」における躯体補修工事の施工管理を担当しています。たとえば工事に伴う計画書の作成、また工程表作成や進捗状況のチェックといった工程管理、さらには安全管理、請求書の処理や原価管理などが主な仕事で、工事に必要な足場の仮設計画などにも携わっています。今までの仕事は新築工事がメインでしたが、初めて取り組むこの復旧整備工事は、新築工事とは違う面での難しさがあります。

施工管理はたくさんの作業員の方々へ指示し、工事を安全に進めていかなくてはなりません。そこが苦労するところです。

それだけに自分が考えた計画、段取りや指示によって工事がスムーズに進行しているときには大きな喜びややりがいを感じますね。また担当した建物が竣工したとき、あるいはすでに完成した建物で人々が生活・活動している場面を見た際にもやはり大きな達成感を感じます。

## 男性の多い業界ではあるけれども 女性にとって不利なことはまったくない。

将来は、生産設計に携わりたいと思っています。生産設計は、躯体の形や仕上げの納まりを、施工順序などの現場の動きを考慮しながら施工図を作成します。その図面に基づいて現場が動くことから建築においては基盤となるととても重要な仕事です。したがって工事の工程・原価など施工管理の知識も必要とされます。目標は、施工も図面についても精通した生産設計長になること。また建築物としては、特殊な建築物である病院や大きな分譲マンションなどを手掛けてみたいです。

建設分野は確かに男性の多い業界です。ただ、そうだからといって女性ができない仕事はほとんどありません。入社して今まで複合ビルや大学の研究棟などの4つの現場で働きましたが、女性であることに對して不利と感じたことは一切ありませんでした。業界での活躍を心配する女性もいると思いますが、ぜひ思い切って建設業へ入り、女性としての感性や能力を発揮してもらいたいですね。

## 施設について

建築現場の工事事務所内には女性用トイレと女性用更衣室が設けてあります。また、1階の現場詰所にも女性作業員用のトイレが設置してあります。



① 工事現場へ続くスロープで土山所長と共に。② 熊本城のモデルの前で工事長と作業工程について話し合う。③ 工事現場の足場から熊本市街を眺める。④ 天守閣1階の柱の状態を説明。⑤ 躯体の調査と補修を担当する職長さんと図面を用いて打ち合わせ。



### 第3回 けんせつ小町現場見学会・懇談会・交流会

■日時／平成29年12月1日 ■見学場所／小倉合同庁舎新営工事(北九州市小倉北区) ■施工企業／広成建設(株)

## 女性が活躍できる 魅力的な建設業界を目指して。

九州支部では平成29年12月1日、会社を超えた女性同士の交流と女性活躍推進を図ることを目的に、第3回「けんせつ小町現場見学会・懇談会・交流会」を開催しました。当日は、九州地方整備局営繕部の5人と会員企業のけんせつ小町22人による「小倉合同庁舎新営工事」の現場見学を行ったほか、福岡に戻った後には、5グループに分かれて懇談会を実施。その後の交流会ではそれぞれの現状を報告しあうなど、有意義な時間を過ごしました。



### 小倉合同庁舎建築現場を見学の後に、 懇談会で「女性の活躍推進」というテーマを探究。

最初に行われたのは、福岡県北九州市で行われている「小倉合同庁舎」の新営工事の見学です。けんせつ小町たち22人はバスに乗って福岡市を発ち、一路北九州市へ。現場へ到着後、まずは事務所で国交省九州地方整備局営繕部整備課の工藤亜実さんから営繕部の概要に加え、公共建築の最前線で働く人にスポットを当てて魅力を発信するポスター「公共建築／未来を創るチャレンジ」、九州地整の女性技術者でつくる「九WE会」などの取り組みについての話を聞きました。

次いで、建築施工会社である広成建設の工事担当・辻まりなさんから工事概要の説明を受けました。工事概要説明では自己紹介にはじまり、敷地や建物の概要、平面図や外観イメージ、進捗状況、作業内容、地域に配慮した取り組みなどが語られ、全員が真剣に耳を傾けていました。また、ご自身が結婚し出産してからのことや会社のバックアップなども紹介されましたが、けんせつ小町のだれもが興味深げに聞き入っていました。

説明が終了すると、建築工事の現場の見学。3グループに分かれた後に建物の4階や2階で工事の状況を確認しながら全体の施設を見て回りました。その後は、建物の周囲をグルリと一周。バス停付近に設けた地域住民用のベンチ、隣の小学校の児童たちが描いた絵などの説明を受けました。見学後は質疑応答となりましたが、九州地方整備局の参加者からは

「けんせつ小町とはどういう仕組みなのか」といった質問が、また、工事に関しては「工事のどの段階で女性に配慮した取り組みを行うのか」などの声が上がったほか、広成建設の辻まりなさんへは「子どもに配慮した会社の取り組みは?」「トイレなどの清掃はだれの担当?」といった質問も投げかけられました。

見学会の後は、福岡市へ戻って懇談会。会場では「ワールドカフェ」というスタイルを取り、「建設業における女性の活躍推進」というテーマで4人が5テーブルについて約20分の話合いの後、リーダー1人が残ってメンバーはテーブルを替えて話を深めていきます。合計3ラウンドにわたってけんせつ小町たちはそれぞれの考えを自由に出しあってテーマを探究し、模造紙に気づいたことや発見したことなどを書き出していましたが、「男女の区別はなくなしながらも女性の特性は活かすべき」とか、「男性も女性も立場や生き方を理解しあうのが理想」などの意見が出されました。

懇談会の後は、隣の部屋へ会場を移しての交流会です。立食パーティ形式ということも手伝って、けんせつ小町たちは美味しい料理を頬張りながら仕事やプライベートのことなどを報告しあい、楽しい時間を過ごしました。

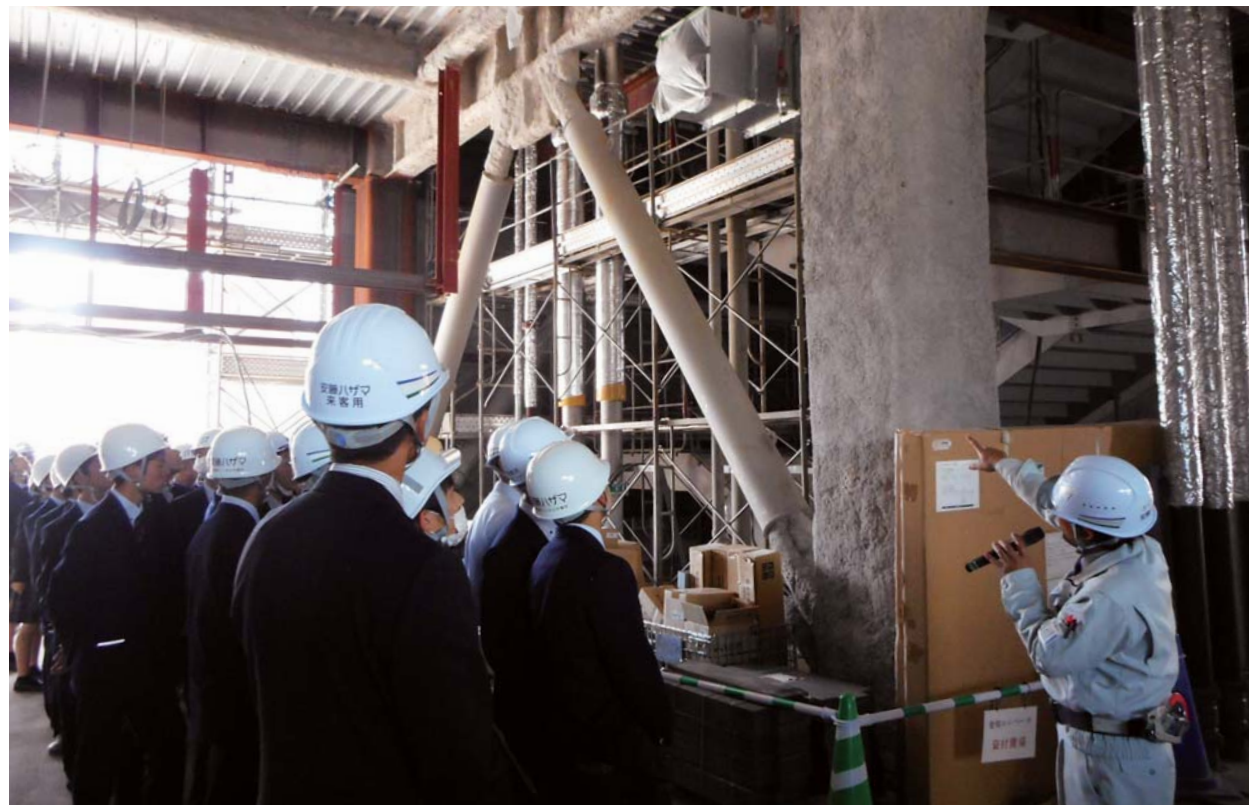
「けんせつ小町」をアピールするピンバッジ



①まずは挨拶と概要説明からスタート②工事が進む建物の最上階を見学③柱の状況を確認するけんせつ小町④工事の様子を覗ける「窓」も設けてあります⑤バス停付近に設置されたベンチを説明⑥懇談会で意見を出し合います⑦最後は楽しい立食パーティ

## 九州産業大学人間科学部新棟建設工事

■日時／平成29年11月9日 ■場所／福岡市 ■施工企業／(株)安藤・間



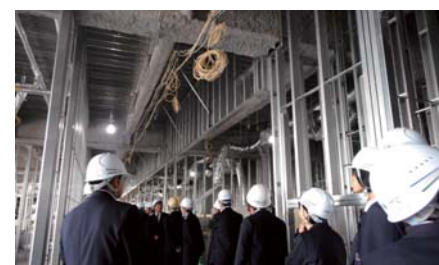
建築分野の幅広い知識を学ぶため、博多工業高等学校建築科2年生39人が九州産業大学の新棟建設工事現場を訪問しました。

見学に先立ち、生徒たちはまず工事担当者や所長さんから建物や工事内容、安全対策などの現場概要や、ノー残業デーなどの取組みの説明を受けました。その後は、事務所前で注意事項などを聞いて現場へ。生徒たちは1階から3階へ進み、天井や柱、また壁などがどういうふうに施工されているか説明を受けながらじっくり見学しました。次いで5階へと登り、内装前の仕上げ工事が進んでいる部屋も見学しました。

現場見学の後は質疑応答となりましたが、生徒からは「給料はどれくらいなのか?」「異性との出会いはあるのか?」などの質問がありました。また、「この建物で力を注いだ特徴的なところは?」という質問に、工事担当者からは「正面外観部分を全面ガラスだけにする工法(フレームレス工法)を採用している」という答えがあり、その美しい意匠と工法に驚いているようでした。約1時間半の見学会でしたが、生徒たちにとっては今後の学習や将来の進路選択に役立つ知識を吸収した時間となったようです。



建築工事の概要説明に聞き入る生徒たち



工事の進む建物内を興味深げに見学



### 見学MEMO

九州産業大学人間科学部新棟は、人間科学部の誕生に伴って建築される延床面積が16,667.45㎡、構造規模が5造地上8階・塔屋1階の学舎です。新棟には工夫をこらした美しいガラスのファザードやまるでホテルのようなトイレが設けられるなど全体に清潔感が漂っており、新しい学部個性を表現した造りになっています。

## 五ヶ山ダム・道路管制センター・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業

■日時／平成29年11月21日 ■場所／那珂川町・太宰府市・大野城市

■施工企業／五ヶ山ダム〈堤体〉鹿島・飛島・松本JV〈骨材製造〉大成・安藤ハザマ・松尾JV

西鉄天神大牟田線〈春日原～下大利〉連続立体交差事業〈仮線部〉(株)松本組〈直上部〉鹿島・大林・西鉄グリーン土木JV、清水、安藤ハザマ



毎年恒例の土木学会西部支部と日建連九州支部の共催による「土木の日見学会」。今回は、公募による34人の参加者が合計3カ所を訪問しました。

最初の見学地は、試験湛水が始まっている「五ヶ山ダム」です。参加者は、管理事務所ですぐダムの事業概要や工事の説明を聞いた後にダム堤体へと移動。施設等の説明を聞きながらダム湖となる上流側や水を流す下流側を見渡しましたが、その規模の大きさにだれもが驚いているようでした。

昼食後には高速道路を管理するNEXCO西日本の道路管制センターへ。ここではセンターに常駐する警察官の交通安全に関する話を伺った後、管制センターの方から事業の概要、道路管制センターの役割、情報提供設備などの説明を受け、最後は、普段見ることがない様々な情報機器端末が並ぶ道路管制センターを窓越しに見学しました。

最後の見学地は、「西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)連続立体交差事業」の工事現場。工事は仮線方式と直上高架方式によって進められていますが、参加者は本線横に仮線を引いて工事を進める下大利駅近くの現場に立って、着々と進む線路の高架化の様子を見学しました。



管制センターの機能や役割を学ぶ



仮線の横で進む高架化工事を見学



### 見学MEMO

五ヶ山ダムは総貯水容量4,020万㎡の重力コンクリート式ダムで、現在試験湛水中です。NEXCO西日本道路管制センターは、24時間体制で高速道路の情報収集や監視・制御などを行う施設です。「西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)連続立体交差事業」は、線路による交通渋滞などを緩和するために進められている約3,300m(福岡県事業区間)の都市計画事業です。

鉄道工事見学会 熊本高等専門学校八代キャンパス

## 熊本駅周辺鉄道高架化事業

■日時／平成29年11月28日 ■場所／熊本市 ■施工企業／鹿島、九鉄などのJV



熊本駅周辺では鉄道高架化事業(JR鹿児島本線等連続立体交差事業)に伴う、駅舎などの建築工事が進められています。この工事の見学に熊本高等専門学校八代キャンパス・建築社会デザイン工学科の学生たち43人がJR熊本駅を訪れました。

まずは高専の先輩もいらっしゃるJR九州の工事担当者が、JR九州の会社説明、そして高架化工事の目的や事業の流れなどの概要を説明。学生たちはその後、JR熊本駅内1階ホームでJR熊本駅の高架化された線路や駅舎工事の様子などを見学しました。また高架化された在来線ホームにも上がりましたが、学生たちもホームに使われている木材などを触るなどして、建築に関する知識を吸収していました。

その後は、高架下の支社建築現場で工事をウォッチング。九州初となるCLT工法(板を積層接着させた厚型パネルを用いた工法)を用いているということで、学生も木肌の独特のやわらかい雰囲気や漂う室内に感心していました。学生の中にはメモをとる学生も見受けられ、学生たちにとっては鉄道建設や建築に関わる知識を学ぶ有意義な時間となりました。



事業の概要説明に聞き入る学生たち



駅1階のホームから駅舎工事を見学



**見学MEMO** 熊本駅周辺の道路と鉄道の立体交差化を図る「鉄道高架化事業」は、踏切事故の根絶や自動車による排ガス・振動・騒音の軽減、周辺地域の交通の円滑化、東西地域の一体的発展、駅周辺地域の都市機能強化などを目的とした事業です。JR熊本駅は高架化がほぼ完成しており、現在は熊本駅の駅舎改築、高架下でのJR熊本支社の建築が進んでいます。

土木工事現場見学会 延岡工業高等学校

## 宮崎218号平底トンネル新設工事

■日時／平成29年12月7日 ■場所／宮崎県日之影町 ■施工企業／前田建設工業(株) ■設計企業／(株)エイト日本技術開発



宮崎県では今、宮崎218号「平底トンネル」の新設工事が進んでいますが、この現場を宮崎県立延岡工業高等学校土木科1年生の38人が訪問し、建設業界の技術力を体感しました。生徒たちはまず、高校の先輩でもある延岡河川国道事務所の担当者及び設計者・施工者からそれぞれの仕事内容や魅力についての話を聞きました。その後、現場のトンネルへ。トンネル内では、工事の先端場所でドリルジャンボでの作業を見たり、発破や支保工設置などの説明を受けたりしましたが、生徒にとっては普段立ち入れない建設現場に入り、どうやってトンネルが出来あがっていくのかをその目で確認すると共に、将来の仕事を考えてみる一日となりました。

## 参加者の声

今回は、土木科一年のために、トンネル工事を見学させて頂き、ありがとうございました。僕は、今回の見学で感じた事があります。

一つ目は、トンネルを作るのに、とても時間と人員とお金がかかるという事です。一日にトンネルを掘る長さが約5メートルという事を聞いてとても驚きました。一回の発破で約1メートルだから、トンネルが完成するまでの時間は、とてもかかるんだと感じました。そして、機械にかかっている費用が、とても高いという事に更に驚きました。故に、トンネルが完成した時には、とてもやりがいを感じるんだと思いました。

二つ目は、土木技術者は、日本でとても重要な役割を担っているという事です。土木技術者からの手紙という動画を見て、土木技術者がいなくなったら、災害からの復旧がとても遅れていたんだろうなと感じました。自分がもし土木技術者になったら、未来の子ども達にも、土木技術者の凄さを教えたいと思います。

土木科1年／和田 康輝

今日の現場見学では、学校の授業でなんとなく聞いていたことを、分かりやすく説明してくださって、工事途中のトンネルの中を見ることができたのでとても勉強になりました。土木はとても地味な仕事で、職業の名前で取り上げられるような有名な職業ではありませんが、日本の道を作る大事な仕事で、道路やトンネルなどはもちろんですが、災害で土砂くずれなどが起きてしまった場合に、周りの人々を助けることのできるカッコいい仕事だということをあらためて感じました。

今日一日で、たくさんのことを教えていただきましたが、特に、トンネルを作る中でダイナマイトを使っているということにびっくりしました。そして、気になっていた女性の職員の方が会社の中で15パーセントもいるということが分かり、カッコいいと思ったし、自分も土木の仕事につけるよう、日々の勉強に力を入れていきたいと思いました。資格もたくさん取りたいと思いました。ありがとうございました。

土木科1年／姫田 真花



**見学MEMO** 平底トンネルは、嘉島JCTと延岡JCT・ICを結び全延長約95kmの九州中央道のうち、延長5.1kmの「高千穂日之影道路」で工事が進んでいる約1,665mのトンネルです。高千穂日之影道路は、国道218号が被災した場合の代替道路となり、宮崎県北地域への緊急輸送や物流・経済活動を確保するための信頼性の高い道路として活用されます。

平成29年九州北部豪雨支援対応報告

# 日建連、資機材調達等の支援を実施!



## 大雨の状況

7月5日(水)の昼頃から夜にかけて、福岡県から大分県にかけて観測史上最も多い記録的な雨量を観測。日田雨量観測では、日降水量336mmを記録し、平成24年九州北部豪雨(7/3)の時と比べると、累計雨量は約2倍でした。

## 災害対応

九州支部では、7月5日に支部災害対策本部を立ち上げ、九州地方整備局様との支援協定に基づき資機材調達等の支援を実施しました。また、今回の災害で、崩壊土砂や流木が大量に発生した赤谷川流域においては、国が権限代行制度により緊急的な河川の掘削等を実施されましたが、福岡県知事からの要望を受け、砂防工事についても新たに国直轄で実施することになり、日建連に対し、災害緊急復旧工事の支援要請があり工事を施工しております。

### 《支援要請(物資)》

- ブルーシート…300枚
- 土嚢袋…14,250枚
- PPロープ…400巻等

### 《支援要請(工事)》

- 九州地方整備局関係…1件  
(赤谷川流域災害関連緊急砂防工事)



※写真は九州地方整備局提供

## 赤谷川流域における災害関連緊急砂防工事(施工:飛島建設㈱)



## 土木の日 ファミリーフェスタ 2017

- 主催/福岡地区土木の日行事実行委員会・(公社)土木学会西部支部
- 日時/平成29年10月15日
- 場所/海の中道海浜公園(大芝生広場)

なぜ11月18日は  
土木の日なの?

なぜ11月18日が土木の日になったかという、2つの理由があります。1つは、土木という漢字をそれぞれ分解すると「土は十と一」「木は十と八」になるからです。もう1つの理由は、社団法人「土木学会」の前身にあたる「工学会」の創立日が、明治12年11月18日であることから、昭和62年にこの日を「土木の日」と決めました。

「土木の日ファミリーフェスタ」は、多くの人たちに土木事業を身近に感じてもらい、理解して頂くために11月18日の「土木の日」にちなんで開催される楽しいイベントです。

平成29年度のイベントエリアには、毎年大人気の小型建設機械乗車体験コーナーをはじめ高速道路パトロールカー展示、土木を学ぶパネル展、PCゲーム&お菓子つかみ取りコーナーなど、いろんなコーナーが並びました。

この日はあいにくの雨で訪れた人たちは前回よりも少なかったものの、ファミリーのみなさんは傘や雨具に身を包んで各コーナーへ足を運び、土木とふれあう楽しい時間を過ごしたようでした。

## 無人化施工をミニバックホウのリモコンゲームで体感!



日建連九州支部は平成29年度も独自のブースを設置し、熊谷組の方々の協力を頂いて最先端の土木工事をPRしました。設けたのは、熊本地震で崩落した阿蘇大橋周辺の工事で実施された「無人化施工」のミニチュア版ゲーム・コーナーで、当日は2つのリモートコントローラーとディスプレイ、2台のミニチュアバックホウを用意。ゲームは、リモコンでバックホウをコントロールし、かごの中のお菓子をバックホウのバケットへと上手に入れて、スタート地点へ戻るといったものです。

前進や後退、アームの操作など、慣れないリモコンにだれもが四苦八苦のようでしたが、子どもたちはもちろんお父さんやお母さんも歓声を上げながらゲームに熱中していました。



## 九州建設技術フォーラム2017

■主催／九州建設技術フォーラム実行委員会 ■日時／平成29年10月18日・19日 ■場所／福岡国際会議場



### 「生産性革命をめざして」をキャッチフレーズに2日にわたって開催！

「九州建設技術フォーラム」は、新しい建設技術の開発・活用・普及促進をより効果的に図るために、「産」「学」「官」が、それぞれの新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信・交換するイベントです。平成29年度は「生産性革命をめざして」というキャッチフレーズのもと、基調講演や特別講演のほか、ディスカッション・セッション、ブース展示、プレゼンテーション、新技術相談、ポスターセッションなどが2日間実施されました。会場へは、日建連会員企業をはじめとする建設企業に加え、行政、高校・専門学校・大学など工業系の学校、そして研究機関などの多様な分野の人々が訪問。様々な取り組みや最新の建設技術情報などを収集するために各講演や発表に真剣に耳を傾けていました。

### リクルーティングプレゼンテーションなど様々な催しに日建連が参加。



日建連九州支部では、熊本地震に伴う復旧支援などを報告する独自のブースを設けたほか、「リクルーティングプレゼンテーション」で、建設施工企業の仕事内容や取り組み、やりがいなどを学生たちにアピールしました。

また2日目は建設業界における女性の活躍推進をテーマに、日建連「けんせつ小町委員会 技術者活躍推進専門部会長」の畠中千野さんが「けんせつ小町の活躍推進に関する取り組み」と題した特別講演を行いました。その後は、関連プログラムとして「ダイバーシティとインクルージョンの推進」をテーマに、九州で活躍する女性や経営者(担当者)によるディスカッション・セッションも行いました。

## 平成29年度大規模津波防災総合訓練

■主催／国土交通省・宮崎県・宮崎市 ■日時／平成29年11月3日 ■場所／メイン会場:宮崎県宮崎市港東(宮崎港東地区13岸壁)



### 南海トラフ巨大地震を想定した145機関参加の防災総合訓練

「大規模津波防災総合訓練」は、平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震を契機に始まった本格的な防災訓練です。地震による大規模津波の被害軽減を目指し、同時に津波に対する知識の普及・啓発を図るために「津波防災の日」「世界津波の日」にあわせて全国各地で実施されています。平成29年度は、南海トラフ巨大地震によって九州でも最大規模の被害が予想される宮崎県が会場となりました。九州では過去最大級となる145機関が参加。訓練ではまず地震・津波情報伝達訓練から始まり、宮崎港の避難高台「命の丘」での外国人留学生も加えた住民等の避難訓練、救命・救助訓練、物資輸送訓練、航路啓開訓練、浸水対策訓練、道路啓開訓練、ライフライン復旧訓練等がまるで本番さながらに行われました。

### 日建連は無線でバックホウを操作する港湾崩壊の応急施工訓練を実施。



日建連九州支部は、内閣総理大臣から「指定公共機関」に指定されていることからこの防災訓練に参加することになりました。

訓練内容は、巨大地震によって港湾の岸壁が崩壊したという想定のもと、その応急処置として無線操作のバックホウによって網入りの石材で崩壊箇所を塞ぐというものです。日建連担当の訓練開始となった11時過ぎ、建設会社のオペレーターがコントローラーでバックホウを的確に操り、迅速に崩壊箇所の復旧作業を行いました。



## インターンシップ講演会

■主催／長崎大学 ■日時／平成29年11月7日 ■場所／長崎大学



### 平成29年度インターンシップ講演会に講師を派遣！

日建連九州支部は毎年、長崎大学工学部工学科社会環境デザイン工学コースの要請によって会員企業から社員を派遣し、「インターンシップ講演会」で講演を行っています。

この講演は、就職を控える学部学生および大学院生に対し、土木事業に携わる建設施工業者やコンサルタント業者、及び公務員の「生の声」を届け、今後の進路決定に役立ててもらうために実施されている企画です。

平成29年度は前田建設工業から講師を派遣し、学生たちに対し建設施工企業の役割や仕事、やりがいや魅力、時代に合わせて進めている取り組みなど幅広い内容を説明しました。

#### 参加者の声

初めに多目的ホールで建設業界から前田建設工業と鴻池組から、コンサルタント業界からは復建調査設計と日鉄鉦コンサルタントから、そして公務員から国土交通省長崎河川事務所、武雄河川事務所、長崎振興局、長崎県土木建設企画課の方々がそれぞれ20分ずつ説明していただき、各業界の強みや魅力、仕事のやりがいなどを理解することができました。それと同時に、さらに深いところまで知るために質問したい点も見つかりました。その疑問は次にあるグループ別質問へと持越し、少人数での質問会のためそれぞれ2点ほど質問することができ、さらに詳しく理解することができました。

建設業界の前田建設さんの説明では、インフラとは一品現地生産であり、二度と同じ現場がないためにやりがいがあることや、現場職員の一日の流れの例を示していただき想像がつきやすかったです。そして、これからの建設業界の現状と今後についても語っていただき、アベノミクスや2020年の東京オリンピック、東日本大震災の復興需要、JR東海のリア中央新幹線などの大型プロジェクトがたくさんあり、社会に必要とされている仕事なのだと感じました。自らが事業者となり、事業全体で利益をあげる脱請負ビジネスというものづくりプラスアルファへの挑戦を行っていることもとても魅力的でした。そして、ゼネコンはどこも同じではなく前田建設には前田建設の良さがあることを教えていただきました。鴻池組さんからも仕事への意気込みで与えられた仕事が自分のキャパシティを超えているときも失敗を恐れずにチャレンジする精神や、チャンスであり大きな責任と重圧がともにあることを学ぶと共に現場方面で入社3年目にして現場で活き活きと働いている古野さんがとてもカッコ良かったです。

今回の説明会ではそれぞれの分野について仕事内容などの違いを中心に学ぶことができ、また、それぞれの強みや特長がはっきりと分かり就職活動が始まるまでに自分の進路を決めるための貴重な機会となり、とても勉強になりました。

工学部工学科社会環境デザイン工学コース／下釜 勇輝

※感想文の一部を抜粋

今回インターンシップ講演会「土木技術者の職場」に参加をして、有益な情報が得られとても良かった。特に、後半のグループ別質問会では、インターネットやパンフレットだけでは分からないことが知れて、これから就職活動をする身としてはとても勉強になった。また、建設業、コンサルタント業、公務員それぞれに良いところがあり、また、それぞれが得意としていることなどがわかった。

まず初めに建設業については、説明をしていただいた前田建設工業さんと鴻池組さんともに、新入社員研修プログラムとして研修期間を設けられているということで、現場の仕事を学ぶ上でとても良いシステムだと感じた。入社して学ぶことが多く、入社当初はきつい建設業界にとっては新人教育に必要な不可欠な制度なのかもしれないと感じた。特に前田建設工業さんでは、その新入社員の研修期間が1年間と充実しており、その間に様々な実地研修を受けられるという点は、しっかりと現場での知識を身に付ける上で、とてもよい試みだと感じた。グループ別質問会では、そういった良い点だけでなく難しい質問にも答えていただき、残業に関してはやはり多いということであったが、これからは働き方改革が進められるということで、今までより働きやすい環境が整えられてほしいと思った。

建設業、コンサルタント業、公務員それぞれに良さがあり、これから就職活動をするうえで、自分がやりたいことや自分に合っている仕事をしっかりと考えることが大事だと感じた。今回のインターンシップ講演会は各業種の特徴を知れてとても良かった。

工学部工学科社会環境デザイン工学コース／川口 壮太郎

コンクリートに関する3工法およびCIM導入

## ガイドライン説明会 -2017福岡-

■主催／日建連九州支部・建設コンサルタンツ協会九州支部

■日時／平成29年7月25日 ■場所／福岡国際会議場



## 鉄道建設工事技術講習会

■主催／日建連九州支部・鉄道建設本部

■日時／平成29年9月14日 ■場所／福岡県中小企業振興センター



日建連九州支部はコンクリートの生産性向上を目指し、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部との共催で、「コンクリートに関する3工法およびCIM導入ガイドライン説明会 -2017福岡-」を開きました。

説明会に先立ち、まず積算資材委員会の堤義人委員長と九州地方整備局の古木慎一総括技術検査官(当日は代行)が挨拶。その後、日建連インフラ再生委員会技術部会委員の杉浦伸哉氏が「CIM導入ガイドライン」の概要説明を、日建連土木工事技術委員会コンクリート技術部会委員の土師康一氏が「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」の概要説明を行いました。

続いて、日建連土木工事技術委員会コンクリート技術部会委員の小笠原哲也氏が「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を、日建連土木工事技術委員会コンクリート技術部会委員の橋本学氏が「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」の概要説明をそれぞれ行いました。

鉄道は、大量・高速・定時性を有する安全安心な輸送手段であり、地球環境保全やエネルギー問題への対処、少子高齢化への対応等の観点から、21世紀も促進整備への期待は大きいものがあります。しかし熟練技術者の大量退職時代の到来、鉄道工事量減少などの影響で鉄道工事経験者を鉄道工事現場に配置できる環境になく、また鉄道工事を取り巻く環境も工期・工費・品質確保、施工環境ともに厳しさが増す中、施工者側のみならず監督側も現場管理業務が多様化・多忙化し、現場業務を通しての鉄道建設固有技術の継承も状況が希薄化傾向にあります。

そこで日建連鉄道建設本部では、鉄道特有の建設技術に精通した技術者育成を目指して、「鉄道建設工事技術講習会」を平成29年度も開催しました。今回は、日建連の名越常務執行役の挨拶に続き、「鉄道関係法規および技術基準類について」「鉄道建設工事固有の技術と留意点について」「施工管理の留意点および不具合事例等について」の講習が行われました。

## 災害防止総決起大会

■主催／日建連九州支部安全環境委員会 ■後援／福岡労働局  
■日時／平成29年11月7日 ■場所／福岡国際会議場



建設業における労働災害は長期的には減少傾向にありますが、死亡者数は依然として全産業の中で占める割合が高く、憂慮すべき状況は変わりません。そこで日建連九州支部では年末年始の災害防止活動として11月に「災害防止総決起大会」を福岡労働局後援のもと開催し、労働災害の撲滅を期しています。平成29年度は河野健吾支部長と福岡労働局労働基準部の小野裕己安全課長の挨拶に続き、3講演が行われました。

まず、福岡労働局労働基準部安全課の植村浩一郎産業安全専門官の「建設業における労働災害の防止について」という講演がスタート。次いで九州地方整備局企画部の西保幸環境調整官による「工事事故の現況と安全対策について」の講演、その後コミュニケーションアドバイザー・河内理恵さんによる「ヒューマンエラーをなくそう～危険感受性を高めるには～」の講演も行われました。なお最後に、尾崎光義安全環境委員会第1小委員長が、林雅仁安全環境委員会委員長へ決意表明を読み上げ大会は終了しました。

## 意見交換会

■主催／日建連九州支部  
■日時／平成29年11月28日 ■場所／第三博多偕成ビル



毎年、九州支部では国土交通省九州地方整備局と「公共工事の諸課題に関する意見交換会」を開催しています。平成29年度は19人が出席して意見交換が行われました。

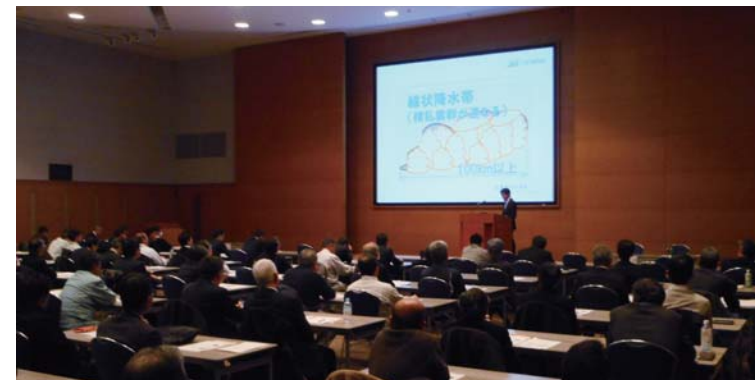
意見交換の冒頭で河野健吾支部長が、「パートナーシップ強化を図り、若者や女性にとって魅力的な業界となるよう取り組みたい」と力強く挨拶。これを受けて、九州地方整備局の藤巻浩之企画部長は「ワークライフバランスなどを根づかせる方法を一緒に考え、少しずつでも前へ進みたい」と述べられました。次いで九州支部が提案テーマ「現場における諸課題の改善に関する提案テーマ」「入札契約制度等に関する提案テーマ」を説明。これに対し、九州地方整備局が「提案テーマへの回答」を行い、その後「自由討議」も実施。約2時間にわたり活発な意見が交換されました。

### 意見交換内容

- 現場における諸課題の改善に関する提案テーマ
- 入札契約制度等に関する提案テーマ

## 建設技術講演会

■主催／日建連九州支部  
■日時／平成29年12月14日 ■場所／福岡国際会議場



建設技術講演会は、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進し国民生活と産業活動基盤の充実に寄与することを目的に、建設産業に関する専門的知識の習得および研鑽を図るために開催されています。

平成29年度は、河野健吾支部長の挨拶に続いて4講演が行われました。まずは、九州地方整備局の藤巻浩之企画部長による「平成29年7月九州北部豪雨への対応」という講演から開始。次いでテレビの天気予報でもおなじみの（一財）日本気象協会九州支社・気象予報士である松井渉さんによる「激化する気象現象と災害」の講演が行われました。

また、休憩を挟んで、九州地方整備局建政部の天方正彦建設産業調整官による「建設業をめぐる最近の話題～建設キャリアアップシステムについて～」の講演が、次に平成28年の熊本地震の復旧工事に当たった、熊谷組九州支店の山下正治土木部長による「阿蘇大橋地区大規模崩壊斜面の対応等について」の講演が行われました。

## 安全環境委員会活動

### 現場点検の実施状況および講習会の開催状況

#### 〈平成29年度 安全環境委員会の主要活動〉

| 部会別区分 | 現場点検 |      |     | 講習会受講者  |
|-------|------|------|-----|---------|
| 交通    | 2回   | 5現場  | 10名 | 1回 61名  |
| 地下埋   | 1回   | 1現場  | 2名  | 1回 56名  |
| 火薬類   | 1回   | 1現場  | 2名  | 1回 37名  |
| 環境    | 2回   | 7現場  | 14名 | 1回 66名  |
| 計     | 6回   | 14現場 | 28名 | 4回 220名 |



#### 〈平成28年度 支部長表彰現場〉

### 火薬類対策優良現場

- 施工会社／株式会社フジタ 九州支店
- 作業所名／中尾トンネル作業所
- 工事名／長崎自動車道 中尾トンネル工事
- 発注者／西日本高速道路株式会社 九州支社



団体の概要

■一般社団法人日本建設業連合会

■設 立

(社)日本建設業団体連合会(旧日建連)、(社)日本土木工業協会(土工協)、(社)建築業協会(建築協)の三団体は、平成23年4月1日に合併し、(社)日本建設業連合会(日建連)として新たに発足しました。また、平成25年4月に一般社団法人に移行しました。建設業界が大きな転換期を迎えつつある今、建設業団体としての機能を一層強化・拡充し、建設業の発展に向けた活動をより強力に展開してまいります。

■目 的

日本建設業連合会(日建連)は、日本を代表する総合建設業者を主な構成員とする団体です。日建連は、建設業に係る諸制度をはじめ、建設産業における内外の基本的な諸課題の解決に取り組むとともに、建設業に関する技術の進歩と経営の改善を推進することにより、わが国の建設産業界の健全な発展を図り、もって国民生活と産業活動の充実に寄与すること、を目的としています。

■会 員

日建連は、建設業界の連合組織であり、正会員である団体会員と法人会員、および特別会員によって構成されています。

- 法人会員…一定規模以上の総合建設業者
- 団体会員…主に総合建設業者で構成する事業者団体

さらに、日本国内で事業活動を行っている外国の建設業者及び、建設業に密接に関連する事業を行っている法人を対象にした特別会員制度も設けています。  
平成30年2月1日現在の会員数は、正会員140社・5団体、特別会員7社です。

■役 員

総会において理事、監事が選任されます。任期はそれぞれ2年となっています。協会活動の円滑な運営を図るため、理事会の決議により会長、副会長、事務総長、専務理事、常務理事を置いています。

■機 関

事業を推進するため、次の機関を設置しています。

- ①総 会  
定時、臨時の2種類があり、定時総会は毎年4月に開催されます。事業計画、収支予算、役員の選任など協会活動の基本的な諸事項について審議、決定します。
- ②理事会  
通常、毎月1回開催され、総会に付議する事項や総会の議決を要しない会務に関する事項を審議、決定します。
- ③事業本部および委員会  
協会活動の中心となる調査研究組織であり、2つの事業本部と2つの特別委員会、26の委員会を設けています。委員は会員各社から募り、建設業に係る諸問題について調査研究活動を行っています。
- ④支 部  
全国9地区に支部を設置しています。支部には、支部長、副支部長、運営委員、監査委員を置き、本部の活動方針に基づく活動を行っています。
- ⑤事務局  
本部、支部それぞれに事務局を設置しています。

■九州支部の概要

■設 立

当支部は、本部の合併により、平成23年4月1日から(社)日本建設業連合会(日建連)の九州支部となりました。支部の活動は、引き続き従来どおりの活動を行うとともに、3団体合併の主旨に則り、建設産業全体の健全な発展へ向けた諸活動をより強力に展開してまいります。

■会 員

支部の会員は「九州地区において本社・支店等を有し建設業を経営する業者で、かつ、本部会員である者」に限られています。  
また、九州地区に本社・支店等がなくても、本部正会員であれば、支部の会員になることができます。  
したがって企業規模・技術水準・社会的信用などあらゆる面で真に業界を代表するに足る企業によって構成されている団体です。  
設立以来の会員数は平成30年2月1日現在で59社を数えています。

■役 員

支部長は総会において、支部長候補者の了承後、会長から任命されます。副支部長は総会で選任された運営委員の互選により支部長が任命します。副支部長は9名を置いています。監査委員は総会において推薦者の了承後監事が指名します。任期はそれぞれ2年となっています。

■事 業

- 本支部は次のような事業を行っています。
- ①災害対策への対応
  - ②公共工事の円滑な実施
  - ③安全・環境対策等の推進
  - ④請負契約制度の改善及び積算の適正化と資材対策の推進
  - ⑤技術開発の推進
  - ⑥電力施設建設事業、鉄道建設事業、海洋開発建設事業の推進
  - ⑦広報活動の推進

■委員会

支部活動の中心となる調査研究機関として、広く会員から委員を募り、総務広報委員会、契約委員会、積算資材委員会、電力委員会、鉄道委員会、安全環境委員会、建築委員会を設置しています。

■沖縄支所

沖縄地区での活動を実施するため、平成8年6月から沖縄に支所を置いています。支所に所属する会員数は42社を有しています。

一般社団法人日本建設業連合会九州支部会員

(五十音順 平成30年2月1日現在59社)

ア

アイサワ工業(株)九州支店  
青木あすなろ建設(株)九州支店  
あおみ建設(株)九州支店  
(株)浅川組九州営業所  
(株)安藤・間九州支店

イ

岩田地崎建設(株)九州支店

ウ

梅林建設(株)

エ

(株)エム・テック九州支店

オ

大木建設(株)九州支店  
(株)大林組九州支店  
(株)大本組九州支店  
(株)奥村組九州支店  
オリエンタル白石(株)福岡支店

カ

鹿島建設(株)九州支店  
鹿島道路(株)九州支店  
株木建設(株)九州支店

キ

九鉄工業(株)

ク

(株)熊谷組九州支店

コ

広成建設(株)九州支店  
(株)鴻池組九州支店  
五洋建設(株)九州支店

サ

佐藤工業(株)九州支店  
三軌建設(株)  
三幸建設工業(株)九州支店

シ

清水建設(株)九州支店  
ショーボンド建設(株)九州支店

セ

西武建設(株)九州支店  
(株)銭高組九州支店

タ

大成建設(株)九州支店  
大成ロテック(株)九州支社  
(株)竹中工務店九州支店  
(株)竹中土木九州支店  
大日本土木(株)九州支店  
大豊建設(株)九州支店

テ

鉄建建設(株)九州支店

ト

東亜建設工業(株)九州支店  
東急建設(株)九州支店  
東洋建設(株)九州支店  
戸田建設(株)九州支店  
飛島建設(株)九州支店

ニ

西松建設(株)九州支社  
日特建設(株)九州支店  
日本国土開発(株)九州支店

ノ

(株)ノバック九州支店

ヒ

(株)ピーエス三菱九州支店

フ

(株)福田組九州支店  
(株)フジタ九州支店  
(株)不動テトラ九州支店

ホ

(株)本間組九州支店

マ

前田建設工業(株)九州支店  
松尾建設(株)

ミ

三井住友建設(株)九州支店  
みらい建設工業(株)九州支店

ム

村本建設(株)九州支店

モ

(株)森本組九州支店

ヨ

(株)吉田組九州支店  
寄神建設(株)九州支店

リ

りんかい日産建設(株)九州支店

ワ

若築建設(株)九州支店

役員

(平成30年2月9日付)

支部長

鹿島建設(株)九州支店長  
河野 健吾

副支部長

清水建設(株)九州支店長  
堤 義人

副支部長

西松建設(株)九州支社長  
吉田 卓生

〃

(株)安藤・間九州支店長  
小松 健

〃

梅林建設(株)社長  
梅林 秀伍

〃

鉄建建設(株)九州支店長  
魚谷 和亮

〃

大成建設(株)九州支店長  
寺本 剛啓

〃

(株)大林組九州支店長  
林 雅仁

〃

(株)熊谷組九州支店長  
梶山 雅生

〃

(株)鴻池組九州支店長  
竹下 浩

運営委員

青木あすなろ建設(株)九州支店長  
福本 聖史

運営委員

日本国土開発(株)九州支店長  
江藤 伸二

〃

(株)奥村組九州支店長  
大角 透

〃

(株)フジタ九州支店長  
岡野 利喜造

〃

九鉄工業(株)社長  
古賀 徹志

〃

前田建設工業(株)九州支店長  
永重 雅守

〃

五洋建設(株)九州支店長  
下石 誠

〃

松尾建設(株)社長  
松尾 哲吾

〃

佐藤工業(株)九州支店長  
勝山 正昭

〃

三井住友建設(株)九州支店長  
緒方 滋

〃

(株)銭高組九州支店長  
曾我部 修一

監査委員

大日本土木(株)九州支店長  
須原 大介

〃

(株)竹中土木九州支店長  
森田 英仁

〃

東急建設(株)九州支店長  
久田 浩司

〃

戸田建設(株)九州支店長  
窪田 浩一

〃

(株)不動テトラ九州支店長  
濱野 尚則

〃

飛島建設(株)九州支店長  
曾我部 真也